

CN201910878173.6



レポートを保存



更新

拒絶理由通知書の概要

本願

CN201910878173.6 開く

[7zILDODqTZm5X2Du4Kcapw](#)

拒絶理由

メモ

201910878173.6(COPY)

[編集](#)

対比文件 1

"谷歌详解如何用机器学习攻克停... 開く

[ShzRy2AuS5aFxmDlDzPskg](#)

対比文件 2

CN108154706A 開く

[HSiG_w3HTgqL6bPPMcHClw](#)

本願発明および従来技術の概要

CN201910878173.6 (本願) 開く

[7zILDODqTZm5X2Du4Kcapw](#)

特許請求の範囲 (CN201910878173.6)

【請求項0001】

1.ナビゲーションのための方法であって、以下を含む:ユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信する;前記ナビゲーション目的地に関連する少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度

情報を決定する;及び

前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提供する。

【請求項0002】

2.請求項1に記載の方法であって、そのうち前記駐車難易度情報を決定することは以下を含む:前記ユーザが前記少なくとも1つの目的地アドレスに到達する時間を決定する;及び

前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の前記駐車難易度情報を前記時間に予測することができる。

【請求項0003】

3.請求項1又は2に記載の方法であって、そのうち前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提供することは以下を含む:前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を前記ユーザに同時に提示する。

【請求項0004】

4.請求項1又は2に記載の方法であって、そのうち前記駐車難易度情報は以下の少なくとも一つを含む:駐車難易度を示す指数;及び

空のビット数

【請求項0005】

5.請求項1又は2に記載の方法であって、さらに以下を含む:前記ユーザが前記駐車難易度情報に基づいて前記少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに対応して、前記ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する;前記ユーザの現在位置から前記選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定する;及び

前記ユーザに前記パイロット経路を提供する。

【請求項0006】

6.請求項2に記載の方法であって、そのうち前記予測が前記時間内に前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の前記駐車難易度情報は以下を含む:前記少なくとも1つの目的地アドレスに対応する駐車領域を決定し、前記駐車領域は前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の1つ又は複数の駐車場を含む;少なくとも1つの駐車場に基づいて前記時間に対応する履歴時間の履歴駐車情報に基づき、前記駐車領域が前記時間に駐車する必要性を予測する;および

前記駐車要求に基づいて、前記時間に少なくとも1つの目的地アドレスの各宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測する。

【請求項0007】

7.請求項6に記載の方法であって、そのうち前記駐車領域の前記時間の駐車要求を予め測定することは以下を含む:前記履歴駐車情報に基づき、前記少なくとも1つの駐車場の前記履歴時間における履歴駐車需要を決定する;前記履歴駐車要件と前記少なくとも1つの駐車場の空間特徴とのマッピング関係を確定する;及び

駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて、前記駐車領域の前記時間における前記駐車要求を予測する。

【請求項0008】

8.請求項7に記載の方法であって、そのうち前記空間特徴は以下の少なくとも一つを含む:少なくとも一つの関心点からの距離;及び

周辺の関心点の数。

【請求項0009】

9.請求項6に記載の方法であって、さらに以下を含む:前記駐車要求に基づいて、前記時間において前記1つ又は複数の駐車場における各駐車場の駐車難易度情報を予測し、ここで前記1つ又は複数の駐車場は履歴駐車情報を提供できない駐車場を含む。

【請求項0010】

10.ナビゲーションのための装置であって、以下を含む:第一受信モジュールであって、ユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信するように配置される;第一決定モジュールは、前記ナビゲーション目的地に関連する少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を決定することに用いられるもの;および

第一提供モジュールであって、前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提供するように配置されるもの。

【請求項0011】

11.請求項10に記載の装置であって、ここで前記第一決定モジュールは以下を含む:決定ユニットであって、前記ユーザが前記少なくとも1つの目的地アドレスに到達する時間を決定することに用いられるもの;及び

予測ユニットは、前記少なくとも1つの宛先アドレス周辺の前記駐車難易度情報を予測するように構成される。

【請求項0012】

12.請求項10又は11に記載の装置であって、ここで前記第一提供モジュールは以下を含む:提示ユニットであって、前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提示するように構成されるもの。

【請求項0013】

13.請求項10又は11に記載の装置であって、そのうち前記駐車難易度情報は以下の少なくとも一つを含む:駐車難易度を指示する指数;及び
空のビット数

【請求項0014】

14.請求項10又は11に記載の装置であって、さらに以下を含む:第2受信モジュールであって、前記ユーザが前記駐車難易度情報に基づいて前記少なくとも1つの目的地アドレスの1つを選択することに応答し、前記ユーザから前記選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する;第2判定モジュールは、前記ユーザの現在位置から前記選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定することに用いられるもの;及び
第2提供モジュールであって、前記ユーザに前記パイロット経路を提供するように構成されるもの。

【請求項0015】

15.請求項11に記載の装置であって、ここで前記予測ユニットはさらに以下のように構成される:前記少なくとも1つの目的地アドレスに対応する駐車領域を決定し、前記駐車領域は前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の1つ又は複数の駐車場を含む;少なくとも1つの駐車場に基づいて前記時間に対応する履歴時間の履歴駐車情報に基づき、前記駐車領域が前記時間に駐車する必要性を予測する;および
前記駐車要求に基づいて、前記時間に少なくとも1つの目的地アドレスの各宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測する。

【請求項0016】

16.請求項15に記載の装置であって、ここで前記予測ユニットはさらに以下のように構成される:前記履歴駐車情報に基づき、前記少なくとも1つの駐車場の前記履歴時刻の履歴駐車需要を決定する;前記履歴駐車需要と前記少なくとも1つの駐車場の空間特徴との間のマッピング関係を確定する;及び
駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて、前記駐車領域の前記時間における前記駐車要求を予測する。

【請求項0017】

17.請求項16に記載の装置であって、ここで前記空間特徴は以下の少なくとも一つを含む:少なくとも一つの関心点からの距離;及び
周辺の関心点の数。

【請求項0018】

18.請求項15に記載の装置であって、ここで前記予測ユニットはさらに以下のように構成される:前記駐車要求に基づいて、前記時間において前記1つ又は複数の駐車場における各駐車場の駐車難易度情報を予測し、ここで前記1つ又は複数の駐車場は履歴駐車情報を提供できない駐車場を含む。

【請求項0019】

19.ナビゲーション用の装置であって、以下を含む:少なくとも一つの処理ユニット;および
少なくとも1つの処理ユニットに結合され、少なくとも1つの処理ユニットによって実行される命令を記憶する少なくとも1つのメモリであって、前記少なくとも1つの処理ユニットによって実行されると、前記装置に請求項1-9乃至請求項のいずれか1項に記載の方法を実行させる少なくとも1つのメモリ。

【請求項0020】

20.コンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、その上にコンピュータプログラムが記憶され、前記コンピュータプログラムは装置によって実行される時に前記装置に請求項1-9のいずれか一項に記載の方法を実行させるもの。

発明をわかりやすく説明 (CN201910878173.6)



本発明はナビゲーション技術の分野に関するもので、特にユーザが目的地に向かう際に、その周辺の駐車しやすいさを事前に知ることができる方法や装置について述べています (0001, 0002)。

【技術分野】

本発明はナビゲーションのための方法や装置、さらにそれを実行するためのコンピュータプログラムや記憶媒

体に関する技術です（0001）。

【用途・活用シーン】

ユーザがナビゲーションアプリを使って目的地を設定するとき、その目的地の住所情報だけでなく、その周辺の駐車難易度情報（駐車難易度情報）も同時に提供されます。これにより、ユーザは駐車しやすい目的地を選択しやすくなり、実際に目的地に到着した際の駐車に関するストレスを軽減できます。例えば、ショッピングセンターやレストランなどの関心点を目的地とする場合に有効です（0005, 0027）。

【課題・問題点】

従来のナビゲーションアプリは目的地の住所情報のみを提供し、駐車しやすいに関する情報は提供していませんでした。また、一部の駐車場ではリアルタイムの空き情報を提供しているものもありますが、それは限られた駐車場のみであり、将来の時間帯の駐車状況予測もできませんでした。そのため、ユーザは外出前に目的地周辺の駐車しやすいを判断できず、駐車に苦労することが多かったのです（0004, 0005）。

【構成・方法】

本発明の方法は、まずユーザからナビゲーション目的地に関する入力を受け取ります（請求項1）。次に、その目的地に関連する少なくとも1つの住所（目的地アドレス）と、その周辺の駐車難易度情報を決定します（請求項1）。この駐車難易度情報は、ユーザが目的地に到着する時間を考慮して予測されることもあります（請求項2）。決定した目的地住所と駐車難易度情報は同時にユーザに提供され、ユーザはこれらの情報をもとに目的地を選択します（請求項3, 請求項10）。

駐車難易度情報は、駐車しやすいを示す指数や空き駐車スペースの数などで表されます（請求項4）。また、駐車難易度の予測には、過去の駐車状況（履歴駐車情報）を分析し、駐車場の空間的特徴（例えば、関心点からの距離や周辺の関心点の数）と駐車需要の関係をモデル化して用います（請求項6, 請求項7, 0016～0018）。

さらに、ユーザが駐車難易度情報を参考に目的地を選択した後、その目的地までのナビゲーション経路を決定し、ユーザに案内を提供します（請求項14）。

【効果】

この構成により、ユーザは目的地の住所情報だけでなく、その周辺の駐車しやすいを事前に知ることができるため、駐車の手続きな場所を避けて目的地を選択できます。これにより、駐車にかかる時間やストレスを軽減し、効率的な外出が可能になります。また、将来の時間帯における駐車難易度の予測も行うため、ユーザが到着する時間に合わせた情報提供が可能となり、より実用的なナビゲーションが実現します（0027, 0028）。

【具体例】

例えば、ユーザが「北京市デパート」を目的地として入力した場合、ナビゲーション装置はその住所を特定し、周辺の駐車場の過去の利用状況や空間的特徴をもとに駐車難易度を計算します。計算結果は「駐車困難」や「容易に駐車可能」といったラベルや指数、空きスペース数としてユーザに提示されます。ユーザはこれらの情報を参考に、駐車しやすい別の目的地住所を選択することもできます（0046～0048, 0052）。

【まとめ】

本発明は、ナビゲーション目的地の住所情報と同時に、その周辺の駐車しやすいを示す情報をユーザに提供する技術です。過去の駐車データと空間的特徴を用いて駐車難易度を予測し、ユーザが効率的に目的地を選択できるように支援します。これにより、従来のナビゲーションアプリが抱えていた駐車情報不足の課題を解決し、ユーザの利便性を大幅に向上させることが可能となります（0004～0007, 0027）。

関連段落：

0001,0002,0005,0027,0004,1,2,3,10,4,6,7,0016,0018,14,0028,0046,0048,0052,0007

WTLdVRtftSOyfm-khobUKNA 2025-05-16

<1>

ラベル：ナビゲーション方法

特徴：ユーザからの目的地入力を受け、目的地住所と周辺の駐車難易度情報を同時に提供するナビゲーション方法

従属先：-

関連段落：

0043～0052,0089

<2>

ラベル：駐車難易度情報予測

特徴：到達時間を決定し、目的地住所周辺の駐車難易度情報を時間的に予測可能とする駐車難易度情報の決定方法

従属先：1

関連段落：

0049～0050,0054～0060

<3>

ラベル：情報提示方法

特徴：目的地住所と周辺の駐車難易度情報をユーザに同時に提示する表示方法

従属先：1

関連段落：

0050～0052,0096～0097

<4>

ラベル：駐車難易度情報内容

特徴：駐車難易度情報に指数および空き駐車スペース数の少なくとも一方を含める情報内容

従属先：1

関連段落：

0048,0097

<5>

ラベル：ナビゲーション経路提供

特徴：駐車難易度情報に基づき目的地住所を選択し、選択された目的地までの経路を決定しナビゲーション経路を提供する方法

従属先：1

関連段落：

0052～0053,0098

<6>

ラベル：駐車要求予測

特徴：駐車領域を決定し、履歴駐車情報に基づき時間に対応した駐車要求を予測し駐車難易度情報を時間的に予測する方法

従属先：2

関連段落：

0054～0060

<7>

ラベル：マッピング関係決定

特徴：履歴駐車需要と駐車場の空間特徴とのマッピング関係を確定し、駐車領域の時間的な駐車要求を予測する方法

従属先：6

関連段落：

0061～0064

<8>

ラベル：空間特徴の定義

特徴：空間特徴として関心点からの距離および周辺の関心点数の少なくとも一方を含む特徴を用いる方法

従属先：7

関連段落：

0078

<9>

ラベル：駐車難易度情報予測

特徴：履歴駐車情報を持たない駐車場を含む複数駐車場の駐車難易度情報を駐車要求に基づき予測する方法

従属先：6

関連段落：

0059

<10>

ラベル：ナビゲーション装置

特徴：ユーザ入力受信モジュール、目的地住所と駐車難易度情報決定モジュール、同時提供モジュールを備えたナビゲーション装置

従属先：-

関連段落：

0090～0092

<11>

ラベル：駐車難易度情報決定

特徴：到達時間決定ユニットと駐車難易度情報予測ユニットを含む決定モジュールを備えた装置

従属先：10

関連段落：

0091～0093

<12>

ラベル：情報提示装置

特徴：目的地住所と駐車難易度情報を同時に提示する提示ユニットを含む提供モジュールを備えた装置

従属先：10,11

関連段落：

0096～0097

<13>

ラベル：駐車難易度情報内容

特徴：駐車難易度情報に駐車難易度指数および空き駐車数の少なくとも一方を含む装置

従属先：10,11

関連段落：

0097

<14>

ラベル：ナビゲーション経路提供

特徴：駐車難易度情報に基づき目的地選択受信モジュール、経路決定モジュール、経路提供モジュールを備えた装置

従属先：10,11

"谷歌详解如何用机器学习攻克停车难,随时预测目的地停车状况",王歆悦,https://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_1612158 (对比文件 1)

 開く

ShzRy2AuS5aFxmIdzPskg

発明をわかりやすく説明 ("谷歌详解如何用机器学习攻克停车难,随时预测目的地停车状况",王歆悦,https://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_1612158)



本発明は、スマートフォンなどの地図アプリケーションにおいて、**目的地**周辺の駐車状況を予測し、ユーザーに駐車の手やすさをリアルタイムで提供する技術に関するものである（0001）。

【技術分野】

本技術は、地図情報サービスやナビゲーションシステムの分野に属し、特に駐車場の混雑状況を予測するための機械学習を用いた**方法**に関する（0001）。

【用途】

ユーザーが**目的地**までのルート検索を行う際に、その場所の駐車の手やすさを「駐車スペースが限られている」「中程度」「容易」の三段階で表示し、駐車の手やすさを事前に把握できるようにする。これにより、ユーザーは車での移動だけでなく公共交通機関の利用も検討しやすくなる（0002,0026）。

【課題】

駐車状況は時間や場所によって大きく変動し、リアルタイムの駐車スペース情報がほとんど存在しない。また、違法駐車や許可駐車、早期離脱などの情報も含めて正確に把握することが困難である。さらに、道路の2次元情報だけでは複雑な駐車場構造を表現できず、駐車スペースの需要と供給は瞬時に変化するため、従来の**方法**では正確な予測が難しい（0010,0011）。

【構成】

本技術は以下の要素で構成される。

1. 地上の実際の駐車状況データを収集するために、ユーザーから「駐車にかかった時間」などの客観的な情報をクラウドソーシングで集める。この**方法**により、主観的な意見のばらつきを減らし、高品質なデータセットを構築する（0013,0014）。
2. 匿名化された位置情報を共有するユーザーのデータを活用し、リアルタイムの交通状況や訪問時間帯、滞在時間などの特徴量を抽出する。これにより、駐車の手やす度を示す指標を作成する（0015,0016）。
3. 駐車の手がかりを示す「ユーザーが**目的地**周辺で車を停めるために周回している時間」と「実際に**目的地**に到達するまでの時間」の差異を特徴量として利用し、駐車困難の兆候を検出する（0017,0018）。
4. これらの特徴量を含む約20種類のデータを用いて、標準的な回帰型の機械学習モデル（ロジスティック回帰）を訓練し、駐車手やす度の確率を算出する。モデルはノイズに強く、各特徴量の影響を理解しやすい点が採用理由である（0019,0020,0021）。

【効果】

このシステムにより、任意の場所と時間における駐車の手やす度を高精度で推定できる。例えば、平日の朝は金

融街や商業地区で駐車が困難になる傾向があり、週末の夜は飲食店や観光地周辺で混雑が予測される。これらの情報をユーザーに提供することで、駐車場探しのストレスを軽減し、公共交通機関の利用促進にもつながる（0023,0024,0025）。

【具体例・想定用途】

スマートフォンの地図アプリで目的地を検索すると、駐車の難易度を示す色付きのアイコンが表示される。これにより、ユーザーは駐車が難しいと予測される場合に、車での移動を控えたり、早めに出発したり、公共交通機関を利用する判断ができる。また、都市計画者や交通管理者もこのデータを活用し、駐車場の配置や交通政策の改善に役立てることが期待される（0002,0026）。

以上のように、本発明はユーザーの匿名位置情報とクラウドソーシングによる実地データを組み合わせ、機械学習モデルで駐車難易度を予測することで、駐車問題の解決に寄与する技術である（0001～0026）。

関連段落：

0001,0002,0026,0010,0011,0013,0014,0015,0016,0017,0018,0019,0020,0021,0023,0024,0025

1wvvvx3ORBC4rWTBHusKIA 2025-05-19

CN108154706A (対比文件 2) 開く

HSiG_w3HTgqL6bPPMcHClw

発明をわかりやすく説明 (CN108154706A)



本発明は、車両の駐車に関する情報処理技術に関するもので、特に車両が目的地に到着した後に適切な駐車スペースを見つけて駐車できるようにする方法および装置についての発明です（0001～0002）。

【技術分野】

本発明は情報処理分野に属し、車両の駐車に用いる情報処理方法および装置に関するものです（0001～0002）。

【用途】

本発明は、車両が目的地に到達した際に、周辺の複数の駐車スペースの空き状況を予測し、最適な駐車スペースを案内するために用いられます。これにより、ユーザーが駐車スペースを探す手間や時間を減らし、快適な駐車体験を提供します。具体的には、ナビゲーションシステムやスマートフォンのアプリケーションに組み込んで利用されることが想定されます（0002～0005、0032～0033）。

【課題】

従来のナビゲーションシステムでは、目的地近くの指定された駐車スペースを案内しても、実際に到着した際に駐車スペースが満車であることが多く、ユーザーが駐車スペースを見つけられず不満を感じる問題がありました。特に車両密度が高い都市部や人気のある地域でこの問題が顕著です（0004～0005）。

【構成】

本発明の方法は、以下の要素を含みます。

1. 車両が目的地に到達する時間情報と位置情報をもとに、設定された範囲内の複数の駐車スペースの空き状況（残りの駐車スペース数）を取得・予測する（請求項1、0009、0035）。
2. 過去の駐車スペースの空き状況の履歴データや道路の交通状況情報を利用して、目的地到着時の駐車スペースの空き状況を予測する。具体的には、過去のデータから平均的な空き状況や最も頻繁に現れる空き数を算出し、リアルタイムの交通情報も考慮する（請求項3、0012、0038～0042、0069～0074）。

3. 予測した空き状況に基づき、複数の駐車スペースの中から、空きが最も多い駐車スペースや、距離と空き状況を総合的に評価して最適な駐車スペースを選択する（請求項6、請求項7、0013～0015、0052～0055）。
4. 選択した駐車スペースまでの案内情報を音声や文字、図形などでユーザーに提供し、車両を誘導する（請求項9、0061～0063）。
5. システムは端末（スマートフォンや車載機器）やサーバーで実装可能で、ナビゲーションアプリケーションと連携して動作する（0009、0032～0033、0080～0103）。

【効果】

この構成により、ユーザーは目的地に到着した際に、実際に空いている駐車スペースを高い確率で見つけることができるため、駐車スペースがないという問題を大幅に減らせます。これにより、駐車にかかる時間やストレスが軽減され、ユーザーの満足度や利便性が向上します。また、過去のデータやリアルタイムの交通情報を活用することで、より正確な空き状況の予測が可能となり、駐車スペースの効率的な利用が促進されます（0007～0008、0104）。

【具体例・想定用途・活用シーン】

例えば、都市部の繁華街やオフィス街で、車を目的地に向けて走らせている際に、到着予定時間と位置情報から周辺の駐車場の空き状況を予測します。過去のデータや交通状況を考慮して、最も空きが多くかつ目的地に近い駐車場を選び、ナビゲーションアプリが音声や画面表示で案内します。これにより、ユーザーは無駄に駐車場を探し回ることなくスムーズに駐車でき、時間の節約やストレス軽減につながります。また、自動運転車両にも対応可能で、車両が自動的に最適な駐車スペースまで走行することも想定されています（0031～0033、0061～0063、0064～0065）。

以上のように、本発明は車両の駐車問題を解決するために、時間と位置情報に基づく駐車スペースの空き状況の予測と最適な駐車スペースの選択・案内を行う情報処理方法および装置を提供し、ユーザーの駐車体験を大幅に向上させる技術です。

関連段落：

0001,0002,0005,0032,0033,0004,1,0009,0035,3,0012,0038,0042,0069,0074,6,7,0013,0015,0052,0055,9,0061,0063,0080,0103,0007,0008,0104,0031,0064,0065

E9TNL5UGT7yXFjQBzsAzVA 2025-05-16

拒絶理由通知書の認定整理

認定整理の再実行



出力結果が不十分な場合は再実行してください

i 審査官の見解を、引用文献の認定、相違点に関する見解などの項目ごとに整理して出力します。拒絶理由通知書に記載された認定内容を、項目ごとに短時間で把握することができます。拒絶理由通知への対応の際は、審査官によるそれぞれの認定内容・見解に対して反論します。

新規性(専利法第22条第2款)

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
1,3,4	見解の概要	請求項1,3,4は新規性を有しない		

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
1	引用文献の認定	対比文件1は「ユーザーがGoogleマップでルートを検索すると、目的地に駐車が困難なリスクがあるとGoogleが予測した場合、地図上に色付きの点と文字Pが表示される。駐車 of 難易度は「駐車スペース限定」「中程度」「容易」の3段階に分類される」ことを開示している	引用文献1	第1-3頁
1	相違点の認定	請求項1と対比文件1の技術的解決手段は、文言表現のみが若干異なるだけで、実質的に同一である	引用文献1	第1頁
1	相違点に関する見解	両者は同一の技術分野に属し、同一の技術的課題を解決し、同一の効果を生み出すため、請求項1は新規性を有しない		

進歩性(専利法第22条第3款)

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
2-20	見解の概要	請求項2-20は進歩性を有しない		
2	引用文献の認定	対比文件2は「ナビゲーション情報を取得し、時間情報に基づいて、車両が目的地に到着する時に位置情報が属する所定の区域範囲内の複数の駐車場の残り駐車スペース数を確定する」ことを開示している	引用文献2	説明書第0025, 0029段
2	相違点の認定	対比文件2は「ユーザーが目的地アドレスに到着する時間を確定し、その時間における目的地アドレス周辺の駐車難易度情報を予測する」という特徴を開示している	引用文献2	説明書第0025, 0029段
2	相違点に関する見解	対比文件2は対比文件1と組み合わせる示唆を与えており、対比文件1を基礎として対比文件2を組み合わせる請求項2の技術的解決手段を得ることは、当業者にとって自明であるため、請求項2は進歩性を有しない		

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
3	引用文献の認定	対比文件1は「目的地アドレスとその周辺の駐車難易度情報をユーザーに同時に提示する」という特徴を開示している	引用文献1	第1-3頁
3	相違点に関する見解	引用する請求項が新規性または進歩性を有しない場合、請求項3も新規性または進歩性を有しない		
4	引用文献の認定	対比文件1は「駐車難易度情報が駐車難易度を示す指数を含む」という特徴を開示している	引用文献1	第1-3頁
4	引用文献の認定	対比文件2は「空き駐車スペース数」という特徴を開示している	引用文献2	説明書第0025, 0029段
4	相違点に関する見解	対比文件1と対比文件2の開示に基づいて、駐車難易度情報が駐車難易度を示す指数と空き駐車スペース数を含むことは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項4は進歩性を有しない		
5	引用文献の認定	対比文件1は「ユーザーの現在位置から選択された目的地アドレスへのナビゲーションルートを確定し、ユーザーにナビゲーションルートを提供する」という特徴を開示している	引用文献1	第1頁
5	相違点に関する見解	対比文件1の開示に基づいて、ユーザーが駐車難易度情報に基づいて目的地アドレスを選択してナビゲーションルートを確定することは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項5は進歩性を有しない		
6	引用文献の認定	対比文件2は「位置情報が属する所定の区域範囲内の複数の駐車場を確定し、時間情報に対応する各駐車場の履歴残り駐車スペース数を取得し、履歴残り駐車スペース数に基づいて、車両が目的地に到着	引用文献2	説明書第0030, 0032段

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
		する時の各駐車場の残り駐車スペース数を予測する」という特徴を開示している		
6	相違点に関する見解	対比文件2は請求項6の追加特徴を開示しており、引用する請求項が進歩性を有しない場合、請求項6も進歩性を有しない		
7	引用文献の認定	対比文件1は「特定の 目的地 、散歩の駐車地点、駐車的时间点と日付、履歴駐車データなどの特徴に対して、標準的な回帰機械学習モデルを使用し、これらのモデルの出力を駐車難の確率として解釈し、それを「駐車スペース限定」や「簡単に駐車」などの記述的用語にマッピングできる」という特徴を開示している	引用文献1	第3頁
7	相違点に関する見解	対比文件1の開示に基づいて、履歴駐車情報に基づいて駐車場の履歴駐車需要を確定することは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項7は進歩性を有しない		
8	相違点に関する見解	対比文件1の開示に基づいて、空間特徴が少なくとも1つの興味ポイントとの距離と周辺興味ポイントの数を含むことは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項8は進歩性を有しない		
9	相違点に関する見解	対比文件1の開示に基づいて、駐車需要に基づいて履歴駐車情報のない駐車場の駐車難易度情報を予測することは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項9は進歩性を有しない		
10-18	相違点に関する見解	請求項10-18は請求項1-9に対応する製品請求項であり、対応する機能モジュールを使用		

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
		して方法ステップを実現することは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項10-18は進歩性を有しない		
19-20	相違点に関する見解	請求項19はナビゲーション用デバイス、請求項20はコンピュータ可読記憶媒体を保護対象とし、プロセッサを使用して記憶媒体中のコンピュータ実行可能命令を実行して方法ステップを実現することは、当業者にとって容易に想到できる通常の技術手段であるため、請求項19-20は進歩性を有しない		

拒絶理由

請求項	見解種別	見解の内容	引用番号	参照段落
全請求項	拒絶理由	本出願は特許権を付与する見込みがない。出願人が通知書で指定された回答期限内に本出願が新規性と進歩性を有することを示す十分な理由を提出できない場合、本出願は拒絶される		
全請求項	AI提案	引用文献1,2と差別化できる新たな技術的特徴を追加することで、新規性・進歩性を主張することが考えられます。例えば、特定の駐車難易度予測アルゴリズムの詳細や、ユーザーインターフェースの特徴的な表示方法などを追加することが考えられます		

特徴語抽出

用語抽出の再実行



出力結果が不十分な場合は再実行してください

本願請求項の「特徴語」を抽出します。引用文献がある場合は、引用文献の「特徴語」も抽出します。
本願と引用文献の対応する用語は同じ色でハイライト表示されます。読解負担を低減できます。

請求項の用語	引用文献の用語
方法	导航方法[1]
目的地	目的地[1] 目的地[2]
指数	停车的难易程度[1]

A I 検討・限定ポイント

クレームチャート再実行

A I 検討の再実行

限定抽出の再実行

出力結果が不十分な場合は再実行してください

i 拒絶理由通知書の内容を参照せずに、A I が引例との一致点、相違点を検討した結果です。相違点として認定された箇所については明細書の記載に基づく限定ポイントを提案します。拒絶理由通知書の認定内容と比較することにより応答方針の作成のヒントとできます。

ID	構成要素	検討種別	検討の内容	引例段落番号	限定ポイント	本願段落番号
【請求項1】						
1A	ナビゲーションのための方法であって、	一致点の認定	引用文献1には「谷歌在安卓设备的更新中,为谷歌地图新增了一项功能——预测目的地的停车状况」と記載されており、これはナビゲーションのための方法に相当する。	引用文献1		
1B	ユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信する；	一致点の認定	引用文献1には「用户只需在谷歌地图中查询路线,就可以看到一个新的图标」と記載されており、これはユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信することに相当する。	引用文献1		
1C	前記ナビゲーション目的地に関連する少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の駐車	一致点の認定	引用文献1には「如果谷歌预测到你所去的目的地可能有停车难的风险,你就会看到地图上出现一个彩色的点,	引用文献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	難易度情報を決定する;		且附带字母P。停 车的难易程度将分 为"车位有限"、"中 等"和"容易"三个等 级」と記載されて おり、これはナビ ゲーション目的地 に関連する少なく とも一つの目的地 アドレス及びその 周辺の駐車難易度 情報を決定するこ とに相当する。			
1D	及び前記少なく とも1つの目的 地アドレス及び その周辺の前記 駐車難易度情報 を同時に前記ユ ーザに提供す る。	一致 点の 認定	引用文献1には 「如果谷歌预测到 你所去的目的地可 能有停车难的风险, 地图上会出现彩色 的点,且附带字母 P」に記載されて おり、これは少な くとも1つの目的 地アドレス及びそ の周辺の駐車難易 度情報を同時にユ ーザに提供するこ とに相当する。	引用文 献1	(A) 少なくとも 1つの目的地ア ドレス及びその 周辺の駐車難易 度情報は「同時 にユーザに提供 される」(効果 [A]:ユーザが目 的地と駐車状況 を一度に把握で き、意思決定が 容易になる) (B) 提供された 情報に基づいて 「ユーザが駐車 難易度情報に基 づいて目的地ア ドレスを選択す ることが可能に なる」(効果[A]: 駐車状況を考慮 した最適な目的 地選択が可能)	(A) 000 9 (B) 0011
【請求項2】						
2A	請求項1に記載 の方法であっ て,	一致 点の 認定	構成1Aと同様。	引用文 献1		
2B	そのうち前記駐 車難易度情報を 決定することは 以下を含む:	一致 点の 認定	引用文献1には 「要提供这一停车 预测功能,工程师们 需要解决许多问 题」に記載されて おり、駐車難易度	引用文 献1	(A) 駐車難易度 情報の決定は 「ユーザが少な くとも1つの宛 先アドレスに到 達する時間を決	(A) 000 8 (B) 000 8

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
			情報を決定すること に相当する。		定する」ことを 含む (効果[A]: ユーザの到着時 刻に合わせた駐 車状況予測が可 能) (B) 駐車難易度 情報の決定は 「少なくとも1 つの目的地アド レス周辺の駐 車難易度情報を 時間に予測す る」ことを含む (効果[A]:時間的 要素を考慮した 高精度な駐車難 易度予測が可 能)	
2C	前記ユーザが前 記少なくとも1 つの目的地アド レスに到達す る時間を決定す る;	一致 点の 認定	引用文献1には 「谷歌声称其停车 预测是基于用户主 动共享地理位置历 史,从而获得的匿名 数据」と記載され ており、これはユ ーザが目的地アド レスに到達する時 間を決定すること に相当する。ま た、引用文献2の [0030]には「ナビ ゲーション情報を 取得し,そのうち, ナビゲーション情 報は車両を含んで 至った宛先の位置 情報と宛先に到達 する時間情報を走 行しようと計画す る」と記載されて いる。	引用文 献1		
2D	及び前記少なく とも1つの目的 地アドレス周辺 の前記駐車難易 度情報を前記時	一致 点の 認定	引用文献1には 「谷歌的一篇官方 博客称,这一功能目 前已经向25个美国 最大的城市地区开	引用文 献1		

ID	構成要素	検討種別	検討の内容	引例段落番号	限定ポイント	本願段落番号
	間に予測することができる。		放」と記載されており、目的地アドレス周辺の駐車難易度情報を時間に予測することに相当する。また、引用文献2の[0037]には「時間情報によって、車両の宛先に到達する時が位置情報所属設定領域範囲内の複数の駐車スペースの残りの駐車スペース数量に以下方式によって以下を実現することができる」と決定する:時間が情報対応した各駐車スペースの歴史の残りの駐車スペース数量を取得する;歴史の残りの駐車スペース数量によって、車両を予測する宛先に到達する時の各駐車スペースの残りの駐車スペース数量」と記載されている。			
【請求項3】						
3A	請求項1又は2に記載の方法であって、	一致点の認定	構成1Aと同様。	引用文献1		
3B	そのうち前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提供することは以下を含む:	一致点の認定	構成1Dと同様。	引用文献1		
3C	前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその	一致点の認定	引用文献1には「如果谷歌预测到你所去的目的地可	引用文献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	周辺の前記駐車 難易度情報を前 記ユーザに同時 に提示する。		能有停车难的风险, 地图上会出现彩色 的点,且附带字母 P」に記載されて おり、これは少な くとも1つの 目的 地 アドレス及びそ の周辺の駐車難易 度情報をユーザに 同時に提示するこ とに相当する。			
【請求項4】						
4A	請求項1又は2 に記載の 方法 であって、	一致 点の 認定	構成1Aと同様。	引用文 献1		
4B	そのうち前記駐 車難易度情報は 以下の少なくと も一つを含む:	一致 点の 認定	引用文献1には 「 停车的难易程度 将分为"车位有 限"、"中等"和"容 易"三个等级」と 記載されており、 駐車難易度情報が 少なくとも一つを 含むことに相当す る。	引用文 献1	(A) 駐車難易度 情報は「ユーザ が少なくとも1 つの宛先アドレ スに到達する時 間に予測され る」(効果[A]:ユ ーザが到着時の 実際の駐車状況 を事前に把握で きる) (B) 駐車難易度 情報は「少なく とも1つの 目的 地 アドレスと同 時にユーザに提 示される」(効 果[A]:ユーザが 目的地 選択時に 駐車難易度を考 慮できる) (C) 駐車難易度 情報は「履歴駐 車情報を提供で きない駐車場に ついて予測され る」(効果[A]: データが不足し ている駐車場で も予測が可能に なり、サービス	(A) 000 8, 0015 (B) 000 9 (C) 001 5

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					範囲が拡大する)	
4C	駐車難易度を示す指数;	一致 点の 認定	引用文献1には「停车的难易程度将分为"车位有限"、"中等"和"容易"三个等级」と記載されており、これは駐車難易度を示す指数に相当する。	引用文 献1		
4D	及び空のビット数	一致 点の 認定	引用文献2の[0011]には「各個駐車スペースの出場車両数,入場車両数と総駐車スペース数によって,対応する残りの駐車スペース数量を決定する」と記載されており、これは空のビット数（残りの駐車スペース数量）に相当する。	引用文 献2[00 11]		
【請求項5】						
5A	請求項1又は2に記載の方法であって,	一致 点の 認定	構成1Aと同様。	引用文 献1		
5B	さらに以下を含む:	一致 点の 認定	引用文献1には「在预发布的实验中,他们发现出行模式按钮的点击量大增,这表明用户获得了停车难度信息之后,会更倾向于考虑公共出行方式,以取代开车」と記載されており、さらに以下を含むことに相当する。	引用文 献1	(A) さらに「ユーザが駐車難易度情報に基づいて少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに応答して、ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する」ことを含む(効果[A]:ユーザの意思決定に基づいた適切なナビゲーションが可能)	(A) 0011 (B) 0011 (C) 001 1

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					(B) さらに「ユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定する」ことを含む (効果[A]: 駐車難易度を考慮した最適な目的地への効率的な誘導が可能) (C) さらに「ユーザにパイロット経路を提供する」ことを含む (効果[B]: 選択された目的地への適切な案内が可能)	
5C	前記ユーザが前記駐車難易度情報に基づいて前記少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに応答して、前記ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する;	一致 点の 認定	引用文献2の[0014]には「それぞれ各駐車スペースを取得して宛先の距離に至る;距離と残りの駐車スペース数量によって、複数の駐車スペース中から目標駐車スペースを選ぶ」と記載されており、これはユーザが駐車難易度情報に基づいて少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに応答して、ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信することに相当する。	引用文献2[0014]		
5D	前記ユーザの現在位置から前記選択された目的地アドレスまでのナビゲেশヨ	一致 点の 認定	引用文献2の[0060]には「出力指示情報、指示情報は車両走行を示して目標駐車スペースま	引用文献2[0060]	(A) ナビゲーション経路の決定は「ユーザが駐車難易度情報に基づいて目的地	(A) 001 1, 0020 (B) 001 1, 0020

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	ン経路を決定する；		で駐車する」と記載されており、これはユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定することに相当する。		アドレスを選択した後」に行われる (効果[A]: ユーザの意思決定を反映した最適な経路設定が可能) (B) ナビゲーション経路は「ユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまで」決定される (効果[B]: 出発地から目的地までの完全な経路提供が可能)	
5E	及び前記ユーザに前記パイロット経路を提供する。	一致 点の 認定	引用文献2の[0061]には「この実施例に、指示情報は車輪走行を示して目標駐車スペースまで駐車する。好ましく、音声情報によってユーザの最も好ましい駐車スペースに告知することができ」と記載されており、これはユーザにパイロット経路を提供することに相当する。	引用文 献2[00 61]		
【請求項6】						
6A	請求項2に記載の方法であって、	一致 点の 認定	構成2Aと同様。	引用文 献1		
6B	そのうち前記予測が前記時間内に前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の前記駐車難易度情報は以下を含む：	一致 点の 認定	引用文献1には「要为解决停车难的问题设计算法,需要三方面技术——通过众包的方方法获得地面实况数据、一个合适的机器学习模型,以及一个用以训练模型的强大	引用文 献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
			特徴集」と記載されており、これは予測が時間内に少なくとも1つの目的地アドレス周辺の駐車難易度情報を含むことに相当する。			
6C	前記少なくとも1つの目的地アドレスに対応する駐車領域を決定し、前記駐車領域は前記少なくとも1つの目的地アドレス周辺の1つ又は複数の駐車場を含む；	一致 点の 認定	引用文献2の[0035]には「この実施例に、時間情報によって計算することができあるいは推定車両の宛先に到達する時の各駐車スペースの残りの駐車スペース数量、そのうち、位置情報所属設定領域範囲内を決定する複数の駐車スペースを必要とする。例えば、駐車スペースA、B、C」と記載されており、これは少なくとも1つの目的地アドレスに対応する駐車領域を決定し、駐車領域は少なくとも1つの目的地アドレス周辺の1つ又は複数の駐車場を含むことに相当する。	引用文献2[0035]	(A) 駐車領域は「目的地アドレス周辺の駐車難易度情報を予測するために使用される」(効果[A]:ユーザが目的地選択前に駐車状況を把握できる) (B) 駐車領域は「ユーザが到達することができる全ての駐車場を含む地理的領域を駐車領域のグループに分割」して決定される (効果[A]:体系的な地理的分析による効率的な駐車領域の特定が可能)	(A) 0027, 0048 (B) 0061
6D	少なくとも1つの駐車場に基づいて前記時間に対応する履歴時間の履歴駐車情報に基づき、前記駐車領域が前記時間に駐車する必要性を予測する；	一致 点の 認定	引用文献2の[0037]には「時間情報によって、車両の宛先に到達する時が位置情報所属設定領域範囲内の複数の駐車スペースの残りの駐車スペース数量に以下方式によって以下を実現することができると決定する:時間が情報対応した各	引用文献2[0037]		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
			駐車スペースの歴史の残りの駐車スペース数量を取得する;歴史の残りの駐車スペース数量によって,車両を予測する宛先に到達する時の各駐車スペースの残りの駐車スペース数量」と記載されており、これは少なくとも1つの駐車場に基づいて時間に対応する履歴時間の履歴駐車情報に基づき、駐車領域が時間に駐車する必要性を予測することに相当する。			
6E	および前記駐車要求に基づいて,前記時間に少なくとも1つの目的地アドレスの各宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測する。	一致 点の 認定	引用文献2の[0044]には「各個駐車スペースの残りの駐車スペース数量によって,複数の駐車場中選択先駐車スペースから」と記載されており、これは駐車要求に基づいて、時間になくとも1つの目的地アドレスの各宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測することに相当する。	引用文 献2[00 44]		
【請求項7】						
7A	請求項6に記載の方法であって,	一致 点の 認定	構成6Aと同様。	引用文 献1		
7B	そのうち前記駐車領域の前記時間の駐車要求を予め測定することは以下を含む:	一致 点の 認定	引用文献1には「针对上述特征,研究员使用了一个标准的回归机器学习模型」と記載されており、これは駐	引用文 献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
			車領域の時間の駐車要求を予め測定することを含むことに相当する。			
7C	前記履歴駐車情報に基づき,前記少なくとも1つの駐車場の前記履歴時間における履歴駐車需要を決定する;	一致 点の 認定	引用文献2の[0037]には「時間が情報対応した各駐車スペースの歴史の残りの駐車スペース数量を取得する」と記載されており、これは履歴駐車情報に基づき、少なくとも1つの駐車場の履歴時間における履歴駐車需要を決定することに相当する。	引用文献2[0037]		
7D	前記履歴駐車要件と前記少なくとも1つの駐車場の空間特徴とのマッピング関係を確定する;	一致 点の 認定	引用文献1には「针对上述特征,研究员使用了一个标准的回归机器学习模型」と記載されており、これは履歴駐車要件と少なくとも1つの駐車場の空間特徴とのマッピング関係を確定することに相当する。	引用文献1	(A) マッピング関係の確定は「履歴駐車要件と少なくとも1つの駐車場の空間特徴に基づいて」行われる(効果[A]:過去のデータと空間的特性を組み合わせた高精度なモデル構築が可能) (B) マッピング関係は「駐車場の駐車要求と駐車場の空間特徴との間の関係」を表す(効果[A]:空間特性と駐車需要の相関関係を体系化し予測精度を向上)	(A) 0013, 0057 (B) 0057
7E	及び駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて,前記駐	一致 点の 認定	引用文献2の[0037]には「歴史の残りの駐車スペース数量によって,車両	引用文献2[0037]	(A) 駐車要求の予測は「駐車領域の空間特徴とマッピング関係	(A) 0013, 0057 (B) 0057

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	車領域の前記時間における前記駐車要求を予測する。		を予測する宛先に到達する時の各駐車スペースの残りの駐車スペース数量」と記載されており、これは駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて、駐車領域の時間における駐車要求を予測することに相当する。		に基づいて」行われる (効果[A]:空間的特性を考慮した高精度な駐車要求予測が可能) (B) 予測は「予測モデルを使用して」行われる (効果[A]:体系的なモデルによる信頼性の高い予測が可能)	
【請求項8】						
8A	請求項7に記載の方法であって、	一致 点の 認定	構成7Aと同様。	引用文 献1		
8B	そのうち前記空間特徴は以下の少なくとも一つを含む:	一致 点の 認定	引用文献1には「针对上述特征,研究员使用了一个标准的回归机器学习模型」と記載されており、これは空間特徴が少なくとも一つを含むことに相当する。	引用文 献1	(A) 空間特徴は「駐車場の空間特徴の集合」である (効果[B]:マッピング関係決定ユニットが履歴駐車要件と組み合わせて効果的にマッピング関係を決定できる) (B) 空間特徴は「駐車場の駐車要求と駐車場の空間特徴との間のマッピング関係を決定するために使用される」 (効果[A]:駐車要求予測の精度向上)	(A) 005 7 (B) 005 7
8C	少なくとも一つの関心点からの距離;	一致 点の 認定	引用文献2の[0051]には「それぞれ各駐車スペースを取得して宛先までの距離,且つ距離と残りの駐車スペース数量によって,複数の駐車スペース	引用文 献2[00 51]		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
			中から目標駐車スペースを選ぶ」と記載されており、これは少なくとも一つの関心点からの距離に相当する。			
8D	及び周辺の関心点の数。	相違点の認定	引用文献1および引用文献2には、周辺の関心点の数に関する記載がない。	引用文献1	(A) 周辺の関心点は「ショッピングセンター、レストラン、学校などを含む」(効果[A]:ユーザーの実際の目的地となる施設の分布を考慮した駐車難易度予測が可能) (B) 関心点は「ナビゲーション目的地として設定される」(効果[A]:ユーザーの実際の訪問先に基づいた駐車情報提供が可能)	(A) 000 5, 0044 (B) 000 5, 0044
【請求項9】						
9A	請求項6に記載の方法であって、	一致点の認定	構成6Aと同様。	引用文献1		
9B	さらに以下を含む:	一致点の認定	構成5Bと同様。	引用文献1	(A) さらに「ユーザーが駐車難易度情報に基づいて少なくとも一つの目的地アドレスを選択することに応答して、ユーザーから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザー入力を受信する」ことを含む(効果[A]:ユーザーの意思決定に基	(A) 0011 (B) 0011 (C) 0011

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					づいた適切なナビゲーションが可能) (B) さらに「ユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定する」ことを含む (効果[A]: 駐車難易度を考慮した最適な目的地への効率的な誘導が可能) (C) さらに「ユーザにパイロット経路を提供する」ことを含む (効果[B]: 選択された目的地への適切な案内が可能)	
9C	前記駐車要求に基づいて、前記時間において前記1つ又は複数の駐車場における各駐車場の駐車難易度情報を予測し、ここで前記1つ又は複数の駐車場は履歴駐車情報を提供できない駐車場を含む。	一致 点の 認定	引用文献2の[0076]には「道路情報によって各駐車スペースの出場車両数と入場車両数を予測して、且つ各個駐車スペースの出場車両数によって、入場する車両数と総駐車スペース数、対応する残りの駐車スペース数量を決定する」と記載されており、これは駐車要求に基づいて、時間において1つ又は複数の駐車場における各駐車場の駐車難易度情報を予測することに相当する。	引用文献2[0076]		
【請求項10】						
10 A	ナビゲーションのための装置で	一致 点の	引用文献1には「谷歌在安卓设备	引用文献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	あって,	認定	的更新中,为谷歌地图新增了一项功能——预测 目的地 的停车状况」と記載されており、これはナビゲーションのための装置に相当する。			
10 B	以下を含む:	一致 点の 認定	引用文献1には「要为解决停车难的问题设计算法,需要三方面技术」と記載されており、これは以下を含むことに相当する。	引用文 献1	(A) 「少なくとも1つの 目的地 アドレス及びその周辺の駐車難易度情報をユーザに同時に提示する」ことを含む (効果[A]:ユーザが 目的地 と駐車状況を一度に把握でき、意思決定が容易になる) (B) 「ユーザが駐車難易度情報に基づいて少なくとも1つの 目的地 アドレスを選択することに応答して、ユーザから選択された 目的地 アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する」ことを含む (効果[A]:ユーザの意思決定に基づいた適切なナビゲーションが可能) (C) 「ユーザの現在位置から選択された 目的地 アドレスまでのナビゲーション経路を決定する」ことを含む (効果[A]:駐車難易度を考慮した	(A) 000 9 (B) 0011 (C) 001 1

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					最適な目的地への効率的な誘導が可能)	
10 C	第一受信モジュールであって、ユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信するように配置される;	一致 点の 認定	引用文献1には「用户只需在谷歌地图中查询路线,就可以看到一个新的图标」と記載されており、これは第一受信モジュールであって、ユーザからナビゲーション目的地に関する第一ユーザ入力を受信するように配置されることに相当する。	引用文 献1		
10 D	第一決定モジュールは、前記ナビゲーション目的地に関連する少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を決定することに用いられるもの;	一致 点の 認定	引用文献1には「如果谷歌预测到你所去的目的地可能有停车难的风险,你就会看到地图上出现一个彩色的点,且附带字母P。停车的难易程度将分为"车位有限"、"中等"和"容易"三个等级」と記載されており、これは第一決定モジュールは、ナビゲーション目的地に関連する少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を決定することに用いられるものに相当する。	引用文 献1		
10 E	および第一提供モジュールであって、前記少なくとも一つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記	一致 点の 認定	引用文献1には「如果谷歌预测到你所去的目的地可能有停车难的风险,地图上会出现彩色的点,且附带字母P」と記載されており、これは第一	引用文 献1	(A) 第一提供モジュールは「少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を同時にユーザに提供する」	(A) 000 9, 0050 (B) 002 7, 0048

ID	構成要素	検討種別	検討の内容	引例段落番号	限定ポイント	本願段落番号
	ユーザに提供するように配置されるもの。		提供モジュールであって、少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を同時にユーザに提供するように配置されるものに相当する。		(効果[A]:ユーザが目的地と駐車状況を一度に把握でき、意思決定が容易になる) (B) 第一提供モジュールは「目的地アドレス周辺の駐車難易度情報を目的地アドレスの周りで駐車していることを示す容易さの指標として表示する」(効果[A]:視覚的に理解しやすい形式で駐車難易度を提示し、ユーザの意思決定を支援)	
【請求項11】						
11 A	請求項10に記載の装置であって、	一致点の認定	構成10Aと同様。	引用文献1		
11 B	ここで前記第一決定モジュールは以下を含む:	一致点の認定	引用文献1には「要为解决停车难的问题设计算法,需要三方面技术」と記載されており、これは第一決定モジュールが以下を含むことに相当する。	引用文献1	(A) 第一決定モジュールは「第2の受信モジュール」を含み、「ユーザが駐車難易度情報に基づいて目的地アドレスを選択することに応答して、選択された宛先アドレスに関する第2のユーザ入力を受信する」(効果[A]:ユーザの選択に基づいた適切なナビゲーションが可能) (B) 第一決定モジュールは「第2の判断モジュール」を含む	(A) 0020 (B) 0020 (C) 0020

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					ール」を含み、 「ユーザの現在 位置から選択さ れた目的地アド レスまでのナ ビゲーション経 路を決定する」 (効果[A]:駐車難 易度を考慮した 最適な目的地へ の効率的な誘導 が可能) (C) 第一決定モ ジュールは「第 2の提供モジュ ール」を含み、 「ユーザにパイ ロット経路を提 供する」(効果 [B]:選択された 目的地への適切 な案内が可能)	
11 C	決定ユニットで あって、前記ユ ーザが前記少な くとも1つの目 的地アドレスに 到達する時間を 決定することに 用いられるも の;	一致 点の 認定	引用文献2の[008 6]には「第1の決 定モジュール42, 時間情報によって 用いて、車両の宛先 に到達する時位置 情報が所属すると 決定する設定領域 範囲内の道路情 報」と記載されて おり、これは決定 ユニットであっ て、ユーザが少な くとも1つの目的 地アドレスに到達 する時間を決定す ることに用いられ るものに相当す る。	引用文 献2[00 86]		
11 D	及び予測ユニッ トは、前記少な くとも1つの宛 先アドレス周辺 の前記駐車難易 度情報を予測す	一致 点の 認定	引用文献2の[008 7]には「第2の決 定モジュール44, 道路情報によって 複数の駐車スペー スを決定する残り	引用文 献2[00 87]		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	るように構成される。		の駐車スペース数量に用いる」と記載されており、これは予測ユニットは、少なくとも1つの宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測するように構成されることに相当する。			
【請求項12】						
12 A	請求項10又は11に記載の装置であって、	一致 点の 認定	構成10Aと同様。	引用文 献1		
12 B	ここで前記第一提供モジュールは以下を含む:	一致 点の 認定	引用文献1には「要为解决停车难的问题设计算法,需要三方面技术」と記載されており、これは第一提供モジュールが以下を含むことに相当する。	引用文 献1		
12 C	提示ユニットであって、前記少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の前記駐車難易度情報を同時に前記ユーザに提示するように構成されるもの。	一致 点の 認定	引用文献1には「如果谷歌预测到你所去的目的地可能有停车难的风险,地图上会出现彩色的点,且附带字母P」と記載されており、これは提示ユニットであって、少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報を同時にユーザに提示するように構成されるものに相当する。	引用文 献1		
【請求項13】						
13 A	請求項10又は11に記載の装置であって、	一致 点の 認定	構成10Aと同様。	引用文 献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
13 B	そのうち前記駐車難易度情報は以下の少なくとも一つを含む:	一致 点の 認定	構成4Bと同様。	引用文 献1	(A) 駐車難易度情報は「ユーザが少なくとも1つの宛先アドレスに到達する時間に予測される」(効果[A]:ユーザが到着時の実際の駐車状況を事前に把握できる) (B) 駐車難易度情報は「少なくとも1つの 目的地 アドレスと同時にユーザに提示される」(効果[A]:ユーザが 目的地 選択時に駐車難易度を考慮できる) (C) 駐車難易度情報は「履歴駐車情報を提供できない駐車場についても予測される」(効果[A]:データが不足している駐車場でも予測が可能になり、サービス範囲が拡大する)	(A) 000 8, 0015 (B) 000 9 (C) 001 5
13 C	駐車難易度を指示する 指数 ;	一致 点の 認定	構成4Cと同様。	引用文 献1		
13 D	及び空のビット数	一致 点の 認定	構成4Dと同様。	引用文 献2[00 11]		
【請求項14】						
14 A	請求項10又は11に記載の装置であって,	一致 点の 認定	構成10Aと同様。	引用文 献1		
14 B	さらに以下を含む:	一致 点の	構成5Bと同様。	引用文 献1	(A) さらに「ユーザが駐車難易	(A) 0011 (B) 0011

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
		認定			度情報に基づいて少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに応答して、ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する」ことを含む(効果[A]:ユーザの意思決定に基づいた適切なナビゲーションが可能) (B) さらに「ユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定する」ことを含む(効果[A]:駐車難易度を考慮した最適な目的地への効率的な誘導が可能) (C) さらに「ユーザにパイロット経路を提供する」ことを含む(効果[B]:選択された目的地への適切な案内が可能)	(C) 0011
14 C	第2受信モジュールであって、前記ユーザが前記駐車難易度情報に基づいて前記少なくとも1つの目的地アドレスの1つを選択することに応答し、前記ユーザから前記選択された目的地	一致 点の 認定	引用文献2の[0097]には「選択ユニット36は以下を含む」と記載されており、これは第2受信モジュールであって、ユーザが駐車難易度情報に基づいて少なくとも1つの目的地アドレスの1つを選択することに応答	引用文 献2[00 97]		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する;		し、ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信することに相当する。			
14 D	第2判定モジュールは、前記ユーザの現在位置から前記選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定することに用いられるもの;	一致 点の 認定	引用文献2の[0100]には「距離取得モジュール、各駐車スペースをそれぞれ取得して宛先に至る距離に用いる」と記載されており、これは第2判定モジュールは、ユーザの現在位置から選択された目的地アドレスまでのナビゲーション経路を決定することに用いられるものに相当する。	引用文 献2[01 00]		
14 E	及び第2提供モジュールであって、前記ユーザに前記パイロット経路を提供するように構成されるもの。	一致 点の 認定	引用文献2の[0101]には「目標駐車スペース選択モジュール、用いて距離と残りの駐車スペース数量によって、複数の駐車スペース中から目標駐車スペースを選ぶ」と記載されており、これは第2提供モジュールであって、ユーザにパイロット経路を提供するように構成されるものに相当する。	引用文 献2[01 01]		
【請求項15】						
15 A	請求項11に記載の装置であって、	一致 点の 認定	構成11Aと同様。	引用文 献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
15 B	ここで前記予測 ユニットはさら に以下のように 構成される:	一致 点の 認定	引用文献1には 「要为解决停车难 的问题设计算法,需 要三方面技术」と 記載されており、 これは予測ユニッ トがさらに以下の ように構成される ことに相当する。	引用文 献1	(A) 予測ユニッ トは「マッピン グ関係決定ユニ ットから提供さ れる予測モデル を使用する」よ うに構成される (効果[A]:体系的 なモデルによる 信頼性の高い予 測が可能) (B) 予測ユニッ トは「駐車場が 特定の時点で駐 車要求を予測す るために予測モ デルを使用す る」ように構成 される (効果 [A]:時間的要素 を考慮した高精 度な予測が可 能)	(A) 005 4, 0057 (B) 005 7
15 C	前記少なくとも 1つの目的地アド レスに対応す る駐車領域を決 定し,前記駐車 領域は前記少な くとも1つの目 的地アドレス周 辺の1つ又は複 数の駐車場を含 む;	一致 点の 認定	構成6Cと同様。	引用文 献2[00 35]	(A) 駐車領域は 「目的地アド レス周辺の駐車 難易度情報を予 測するために使 用される」(効 果[A]:ユーザが 目的地選択前に 駐車状況を把握 できる) (B) 駐車領域は 「ユーザが到達 することができ る全ての駐車場 を含む地理的領 域を駐車領域の グループに分 割」して決定さ れる (効果[A]: 体系的な地理的 分析による効率 的な駐車領域の 特定が可能)	(A) 002 7, 0048 (B) 006 1

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
15 D	少なくとも1つの駐車場に基づいて前記時間に対応する履歴時間の履歴駐車情報に基づき,前記駐車領域が前記時間に駐車する必要性を予測する;	一致 点の 認定	構成6Dと同様。	引用文 献2[00 37]		
15 E	および前記駐車要求に基づいて,前記時間に少なくとも1つの目的地アドレスの各宛先アドレス周辺の駐車難易度情報を予測する。	一致 点の 認定	構成6Eと同様。	引用文 献2[00 44]		
【請求項16】						
16 A	請求項15に記載の装置であって,	一致 点の 認定	構成15Aと同様。	引用文 献1		
16 B	ここで前記予測ユニットはさらに以下のように構成される:	一致 点の 認定	構成15Bと同様。	引用文 献1	(A) 予測ユニットは「マッピング関係決定ユニットから提供される予測モデルを使用する」ように構成される(効果[A]:体系的なモデルによる信頼性の高い予測が可能) (B) 予測ユニットは「駐車場が特定の時点で駐車要求を予測するために予測モデルを使用する」ように構成される(効果[A]:時間的要素を考慮した高精度な予測が可能)	(A) 005 4, 0057 (B) 005 7

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
16 C	前記履歴駐車情報に基づき,前記少なくとも1つの駐車場の前記履歴時刻の履歴駐車需要を決定する;	一致 点の 認定	構成7Cと同様。	引用文 献2[00 37]		
16 D	前記履歴駐車需要と前記少なくとも1つの駐車場の空間特徴との間のマッピング関係を確定する;	一致 点の 認定	構成7Dと同様。	引用文 献1		
16 E	及び駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて,前記駐車領域の前記時間における前記駐車要求を予測する。	一致 点の 認定	構成7Eと同様。	引用文 献2[00 37]	(A) 駐車要求の予測は「駐車領域の空間特徴とマッピング関係に基づいて」行われる (効果[A]:空間的特性を考慮した高精度な駐車要求予測が可能) (B) 予測は「予測モデルを使用して」行われる (効果[A]:体系的なモデルによる信頼性の高い予測が可能)	(A) 001 3, 0057 (B) 005 7
【請求項17】						
17 A	請求項16に記載の装置であって,	一致 点の 認定	構成16Aと同様。	引用文 献1		
17 B	ここで前記空間特徴は以下の少なくとも一つを含む:	一致 点の 認定	構成8Bと同様。	引用文 献1		
17 C	少なくとも一つの関心点からの距離;	一致 点の 認定	構成8Cと同様。	引用文 献2[00 51]		
17 D	及び周辺の関心点の数。	相違 点の	構成8Dと同様。	引用文 献1	(A) 周辺の関心点は「ショッピ	(A) 000 5, 0044

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
		認定			ングセンター、レストラン、学校などを含む」 (効果[A]:ユーザの実際の目的地となる施設の分布を考慮した駐車難易度予測が可能) (B) 関心点は「ナビゲーション目的地として設定される」 (効果[A]:ユーザの実際の訪問先に基づいた駐車情報提供が可能)	(B) 0005, 0044
【請求項18】						
18 A	請求項15に記載の装置であって、	一致点の認定	構成15Aと同様。	引用文献1		
18 B	ここで前記予測ユニットはさらに以下のように構成される:	一致点の認定	構成15Bと同様。	引用文献1	(A) 予測ユニットは「マッピング関係決定ユニットから提供される予測モデルを使用する」ように構成される (効果[A]:体系的なモデルによる信頼性の高い予測が可能) (B) 予測ユニットは「駐車場が特定の時点で駐車要求を予測するために予測モデルを使用する」ように構成される (効果[A]:時間的要素を考慮した高精度な予測が可能)	(A) 0054, 0057 (B) 0057

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
18 C	前記駐車要求に基づいて、前記時間において前記1つ又は複数の駐車場における各駐車場の駐車難易度情報を予測し、ここで前記1つ又は複数の駐車場は履歴駐車情報を提供できない駐車場を含む。	一致 点の 認定	構成9Cと同様。	引用文 献2[00 76]		
【請求項19】						
19 A	ナビゲーション用の装置であって、	一致 点の 認定	構成10Aと同様。	引用文 献1		
19 B	以下を含む:	一致 点の 認定	構成10Bと同様。	引用文 献1	(A) 「少なくとも1つの目的地アドレス及びその周辺の駐車難易度情報をユーザに同時に提示する」ことを含む (効果[A]:ユーザが目的地と駐車状況を一度に把握でき、意思決定が容易になる) (B) 「ユーザが駐車難易度情報に基づいて少なくとも1つの目的地アドレスを選択することに応答して、ユーザから選択された目的地アドレスに関する第2ユーザ入力を受信する」ことを含む (効果[A]:ユーザの意思決定に基づいた適切なナビゲーションが可	(A) 000 9 (B) 0011 (C) 001 1

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
					能) (C) 「ユーザの 現在位置から選 択された目的地 アドレスまでの ナビゲーション 経路を決定す る」 ことを含む (効果[A]:駐車難 易度を考慮した 最適な目的地へ の効率的な誘導 が可能)	
19 C	少なくとも一つ の処理ユニッ ト;	一致 点の 認定	引用文献1には 「谷歌的一篇官方 博客称,这一功能目 前已经向25个美国 最大的城市地区开 放」と記載されて おり、これは少な くとも一つの処理 ユニットに相当す る。	引用文 献1	(A) 処理ユニッ トは「少なくと も1つのメモリ に結合され、メ モリに格納され た命令を実行す る」(効果[B]:シ ステムの機能を 効率的に実行で きる) (B) 処理ユニッ トは「時系列分 析ユニット、マ ッピング関係決 定ユニット、駐 車要求予測ユニ ット、空間補間 ユニットを含 む」(効果[A]:駐 車難易度情報の 予測と提供のた めの専門化され た処理が可能)	(A) 002 5 (B) 005 4-0056
19 D	および少なくと も1つの処理ユ ニットに結合さ れ、少なくとも 1つの処理ユニ ットによって実 行される命令を 記憶する少なく とも1つのメモ リであって、前 記少なくとも1	一致 点の 認定	引用文献1には 「谷歌的一篇官方 博客称,这一功能目 前已经向25个美国 最大的城市地区开 放」と記載されて おり、これは少な くとも一つの処理 ユニットに結合さ れ、少なくとも1 つの処理ユニット	引用文 献1		

ID	構成要素	検討 種別	検討の内容	引例段 落番号	限定ポイント	本願段 落番号
	つの処理ユニットによって実行されると、前記装置に請求項1-9乃至請求項のいずれか1項に記載の 方法 を実行させる少なくとも1つのメモリ。		によって実行される命令を記憶する少なくとも1つのメモリであって、前記少なくとも1つの処理ユニットによって実行されると、前記装置に請求項1-9乃至請求項のいずれか1項に記載の 方法 を実行させる少なくとも1つのメモリに相当する。			
【請求項20】						
20 A	コンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、	一致 点の 認定	引用文献1には「谷歌的一篇官方博客称,这一功能目前已经向25个美国最大的城市地区开放」と記載されており、これはコンピュータ読み取り可能な記憶媒体に相当する。	引用文 献1		
20 B	その上にコンピュータプログラムが記憶され、前記コンピュータプログラムは装置によって実行される時に前記装置に請求項1-9のいずれか一項に記載の 方法 を実行させるもの。	一致 点の 認定		引用文 献1		